

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営ビジョン

不動産・旅行・人材の3つの事業領域から日本の未来を担う若者と社会を応援する人たちをつなぎ、地域経済や社会に貢献する。

連結売上高
300億円

連結営業利益
31億円

総管理戸数
15,000戸

新規地方物件開発
1,000戸

② 中長期の経営戦略

1. 不動産デベロップメント強化

付加価値の高い物件開発と地方都市での開発を積極推進。東京圏一極集中リスク回避とESG地域貢献を両立。

3. 課外活動事業再構築

コロナ禍で縮小した事業のDX化と効率化を推進。学生マーケット情報を活用した新サービス開発。

2. 不動産マネジメントDX推進

WEB契約・360°VR内見・WEB接客等IT活用で24時間非対面リーシング体制を構築。全国学生ひとり暮らしCLUB40社と共同事業展開。

4. 人材ソリューション高度化

人事コンサルティング・人事DXシステム構築・人的資本経営IR領域拡大で企業採用課題解決を多様化対応。

③ 対処すべき課題

① 不動産事業の収益性確保

- ・ 高度で幅広い事業ノウハウ蓄積と金融機関との協力連携強化が重要
- ・ 入居者ニーズに応える商品バリエーション拡充
- ・ 立地や品質にこだわった付加価値の高い物件開発

② 課外活動事業の構造転換

- ・ 学生の課外活動参加率減少による中長期的な縮小傾向に対応
- ・ 大規模感染症流行時の影響リスク低減
- ・ 効率化と生産性向上体制の整備が必要

③ 人材採用の多様化対応

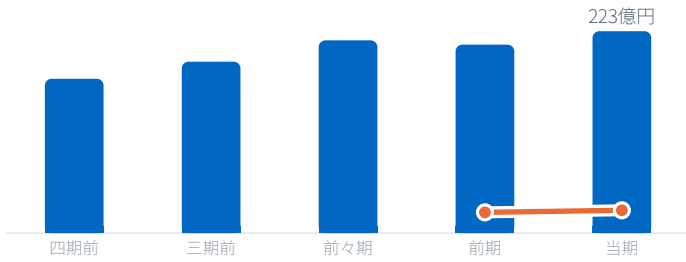
- ・ 新卒一括採用から通年採用への企業意識の変化に対応
- ・ 企業毎のニーズに応じた商品サービス開発拡充
- ・ 柔軟な発想と組織強化・人材育成の強化が重要

面接で使えるポイント

- ・ 創業50周年を迎える2029年に向け、売上高300億円・営業利益31億円を目標とする成長戦略を推進中
- ・ 不動産・旅行・人材3つの事業領域で学生と企業をつなぎ、ワンストップソリューションを実現
- ・ DX化と地方展開で東京圏一極集中リスク回避、100年持続可能な企業を目指す経営方針

証券コード 8908

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
223億円営業利益率
11.3%財務健康度
59点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 47.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
642万円
不動産業内 85位/130社平均年齢
36.5歳
不動産業内 91位/131社平均勤続
10.9年
不動産業内 23位/131社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

